

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立春日出中学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の自己評価結果の総括は妥当である。

生徒が安心して安全な学校生活を送りながら、未来を切り拓く学力・体力を身につけられるように、指導方法の改善を行ったり、様々な取り組みの工夫を行っていた。また、教育環境の充実の実現に向けて、ICTの活用の促進を行っていた。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：「安全・安心な教育の推進」に関する項目において

○達成状況の評価に関しては妥当である。

○学校アンケートの「清掃活動に積極的に参加している」に対して、肯定的に回答する生徒の割合が、昨年度も高い割合であったが、今年度さらに上昇しており高く評価する。

○不登校生に対する多様な学びの実現に向けた様々な取り組みに対しても高く評価する。

○学校アンケートで高い割合を示しているものもあるが、現状に満足するのではなく、継続して生徒の観察に力を注ぎ、安心・安全な教育を推し進めることを望む。

年度目標：「未来を切り拓く学力・体力の向上」に関する項目において

○達成状況の評価に関しては妥当である。

○学校アンケートの「学習している内容がわかる、理解しやすい授業だ」に対して、肯定的に回答する生徒の割合が昨年度よりも大きく上昇していることは高く評価する。今後、分かりやすさと定着した学力が結びつくような工夫を望む。

○今まで、英語については、学力に一定の課題があったが、基礎基本の定着に尽力した結果、大きく力をつけたことは高く評価する。1・2年に関しても、継続して基礎基本の定着に力を注ぎ、3年のように大きく英語力を高められることを望む。

年度目標：「学びを支える教育環境の充実」に関する項目において

○達成状況の評価に関しては妥当である。

○時間外勤務時間が昨年度よりも上昇しているが、他校と比較しても大幅に少ないことや、ゆとりの日を計画的に確保できる体制を整えていることを高く評価する。

○ICT活用時間については、昨年度に比べ大幅に増加していることを高く評価する。

○今後もICTを活用しながら、教職員がワーク・ライフバランスを大切にし、子どもたちの教育に全力を注げる環境を整えることを望む。

3 今後の学校園の運営についての意見

来年度も継続して、研修を充実させるなどして、生徒たちが安心・安全な学校生活を送りながら、未来をたくましく生き抜く学力・体力を身につけられるようにしてほしい。また、そのためには、教職員がワーク・ライフバランスを大切にしながら、教育に全力を注げる環境を整えることも大切であるので、引き続き、業務の見直しと効率化にも力を注いでほしい。